

教職履修チェックシート <人間科学部 高校一種共通> 【氏名: _____】

2022年度以降入学者用

【66条の6に定める科目】

	領域	必要最低単位数	早稲田大学設置科目	修得単位数【予定は()をつける】				合計修得(予定)単位数
				1年次	2年次	3年次	4年次以上	
66条の6	「日本国憲法」	2	「憲法」(人間科学部設置)				教育実習前提条件※1	
	「体育(実技)」	2						
	「外国語コミュニケーション」	2	「科目登録の手引き」参照					
	「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」又は「情報機器の操作」	2						

※1 教育実習実施前年度までに2領域以上(1領域につき2単位以上)の修得が必要です。

【教育の基礎的理解に関する科目等(必修)】

教育職員免許法施行規則に定める科目	必要最低単位数	早稲田大学設置科目	修得単位数【予定は()をつける】				合計修得(予定)単位数	
			1年次	2年次	3年次	4年次以上		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	2	「教育基礎総論1(中・高)」				教育実習前提条件	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	2	「教職概論(中・高)」			介護等体験前提条件	教育実習前提条件	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	2	「教育制度総論(中・高)」				教育実習前提条件	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	2	「教育心理学(中・高)」				教育実習前提条件	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	1	「特別支援教育(中・高)」			介護等体験前提条件	教育実習前提条件	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	1	「教育課程編成論(中・高)」				教育実習前提条件	
道徳、総合的な学習の時間等の指導方法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	1	「総合的な学習・探究論(中・高)」					
	特別活動の指導法	1	「特別活動論(中・高)」					
	教育の方法及び技術	2	「教育方法・技術論(中・高)」				教育実習前提条件	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1	「教育におけるICT活用(中・高)」					
	生徒指導の理論及び方法	2	「生徒指導・進路指導論(中・高)」					
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2	「生徒理解と教育相談(中・高)」				教育実習前提条件		
関する実践科目	教育実習【中高両方の免許取得を希望する場合、「(3週間)5単位」を登録してください】※1	3	「教育実習演習(中・高)(2週間)」または「教育実習演習(中・高)(3週間)」					
	教職実践演習	2	「教職実践演習(中・高)」					
①「教育の基礎的理解に関する科目等」合計		24						

※1 「教育実習演習(中・高)(3週間)」5単位を修得した場合、「教育実習演習(中・高)(2週間)」3単位との差分の2単位は、高校1種免許状取得要件の総合計59単位に含めることができます。

※ 4年次以上で介護等体験に参加する場合は、前年度までに前提条件を満たすようにしてください。

【氏名：】

【教科及び教科の指導法に関する科目】

各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	必要最低単位数	修得単位数【予定は()をつける】				合計修得(予定)単位数
		1年次	2年次	3年次	4年次以上	
英語科教育法1	2				教育実習前提条件	
英語科教育法2 *1を修得済みであること	2				教育実習前提条件	
英語科教育法3	—					
英語科教育法4 *3を修得済みであること	—					
②「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」合計	4					

※1・2は教育実習前提条件。留学に起因して当該条件を満たせない場合は教職支援センターに相談してください。

※<英語科教育法2・4の前提条件について>2024年度以前入学者は経過措置の適用あり。詳細は教職支援センターwebサイトを参照してください。

※別に定める語学カスコアの前提条件があります。「教職課程履修の手引き」を参照してください。

教科に関する専門的事項(人間科学部設置)		必要最低単位数	修得単位数【予定は()をつける】				合計修得(予定)単位数
			1年次	2年次	3年次	4年次以上	
英語学	必修科目	「科目登録の手引き」参照					
	選択科目						
英語文学	必修科目						
	選択科目						
英語コミュニケーション	必修科目						
	選択科目						
異文化理解	必修科目						
	選択科目						
③「教科に関する専門的事項」(英語)合計		20					

※教育実習にて当該教科を担当する場合、教育実習実施前年度までに「教科に関する専門的事項」(必修および選択)のうち16単位以上の修得が必要です。

【「大学が独自に設定する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目等(選択)」】

	必要最低単位数	修得単位数【予定は()をつける】				合計修得(予定)単位数
		1年次	2年次	3年次	4年次以上	
「介護体験実習講義」	—					
「道徳教育論」	—					
その他(「介護体験実習講義」、「道徳教育論」以外の「大学が独自に設定する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目等(選択)」)※「科目登録の手引き」参照	—					
④「大学が独自に設定する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目等(選択)」合計	—					

※高校英語の免許状のみを取得する場合、これらの科目の履修は任意です。中学の免許状を取得希望でこれらの科目の単位を修得済の場合は「教育の基礎的理解に関する科目」(選択)または「大学が独自に設定する科目」の単位として使用できます。

【合計】 ※66条の6を除く

	必要最低単位数※	修得単位数【予定は()をつける】				合計修得(予定)単位数
		1年次	2年次	3年次	4年次以上	
①「教育の基礎的理解に関する科目等(必修)」合計	24					
②「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」合計	4					
③「教科に関する専門的事項」(英語)合計	20					
④「大学が独自に設定する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目等(選択)」合計	—					
⑤総合計(法令上必要単位数:59単位以上)	59					

※必修として定められた科目の単位をすべて修得したうえで、かつ①~⑤の必要最低単位数以上の修得が必要です。